

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和4年6月15日 午後7時00分から午後7時55分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	金井(修)委員、金井(律)委員、金子委員、小坂委員、児玉(淳)委員、児玉(守)委員、小林委員、小山委員、近藤委員、桜井委員、芝野委員、城下委員、立岩委員、比田井委員、廣川委員、堀委員、松久委員 【欠席委員3名】
5 市側出席者	下村地域自治センター長、樋口地域振興課長、白鳥市民サービス課長、芳池産業建設課長、杉浦丸子・武石上下水道課長、若林武石教育事務所長、半田武石教育事務所次長、若木地域政策担当係長、清水地域政策担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和4年6月27日
協 議 事 項 等	

1 開会(副会長)

2 あいさつ(会長、センター長)

(センター長) 6月6日から6月定例議会が開会され、13日から3日間一般質問が行われ終了した。最終日は27日ということで武石関係もいろいろと議決いただく案件がある。地元選出議員からもいくつか質問をいただき答弁している。一つは武石新橋左岸側迂回路の要望の質問が出された。迂回路については台風災害により武石新橋の一部が崩落したということで、武石地域の大きな課題だと捉えている。左岸側は迂回路をつくるには地形的に難しい状況と判断が出ている。今後も長野県等と協議しながら検討していきたいと回答した。二つ目は公園整備の関係で武石公園及び周辺にウォーキングコースを整備してもらいたいという意見、また、武石川の復旧に伴う親水公園の整備について意見が出された。武石公園は武石地域の中心の公園であり多くの方々が目撃している。今ある施設を再整備しながら新しい一つの方向に一体的に整備できればと回答した。親水公園については、現在河川公園があり、利用者のマナーが問題視され苦情も出ているため慎重に対応を検討すると回答した。三つ目に過疎地域持続的発展市町村計画について概要版を基に全員協議会で説明し、武石地域としてはチャンスと捉えており事業を活用していきたいと回答した。武石地域ではこのほか旧武石地域自治センターの広場について実施設計する予定となっており、皆さんの意見をお聞きしながら事業を展開していきたい。また、スマートシティ化について過疎交付金を利用した実証実験を行うための予算も計上している。武石地域いろいろな課題はあるが、皆さんのご意見をお聞きし、一つでも形になるよう努力していきたい。

3 協議事項

(1) 第2回地域協議会協議内容の確認について(事務局説明)

- ・委員からの意見、質問なし

(2) 武石公民館図書室及び学習室の利用について(教育事務所長説明)

【質疑等】

(委員) 武石公民館図書室の管理は誰がしているのか。

(事務局) 現在武石公民館図書室で司書の資格を持った職員はいない。公民館職員で運用している。

(委員) 子どもが小さいころはよく利用していた。保育園の子どもたちが図書室の本を借りて読んでいたのを経験しているので図書室はとても大事だと感じる。数字を見れば規模が小さく蔵書も少ないため丸子や上田を利用するというのもわかる。利用している方が限られているのが現状であると思

う。ただし、武石地域において図書室をどのように捉えていくかが大事。アンケートを見ると「総合センターに図書室があることを知らなかった」、「これから時間が取れるので行ってみたい」という回答もあるので、魅力のある図書室であれば活用していくと思う。これから団塊の世代が増え、図書室に来て武石の事を思い出したり、公開しているものを自由に手に取って見られる場所など普通の図書室とは違った武石独自のカラーを持った図書室にすれば活気のある、存在意義のある図書室のなるのではないかと思う。

(委員) 9月まで延長して試行する理由は。今結論が出せないのか。

(事務局) 図書室の存在を知らない方もいるので1年間試行を続けそのうえで方向性を検討していきたい。

(委員) 試行期間を延長するには目的がしっかりとしていないといけない。図書館と同様の運営を行うことは課題が多いとあるが図書館としての資質、蔵書、司書対応、ということを考えていくのか、どんな目的があってどのようにしていくか最終的な目標が見えていない。

(事務局) ただ試行を延長するのではなく、読み聞かせ等の魅力アップにつながるような企画を加えながら試行延長を図り、利用者の増加を試みるという方向で考えていきたい。

(委員) 休日・延長図書室の試行開館等取り組みに対するそれぞれの住民の反応が大きな資料として残っていく。事実積み上げていけば素晴らしい資料になる。

(委員) 武石公民館図書室の休日開館及び平日延長開館の利用実績について、平日の利用者数が分からないとそれぞれ実際に通常の開館時間の利用者数に対してどのくらいの割合になっているのかが分からない。

(事務局) 平均して通常午前中の利用者はほとんどない。午後夕方にかけて多くて5人程度の利用となっている。

(委員) 委員の皆さんは実際に図書室を見たことはあるか。実際に見てみないと実感がわからない。会議後に皆で見てはどうか。

(会長) 総合センターのお披露目の時に前期の委員については見たことがあるが、今年新たに入った委員は見る機会がなかったかもしれない。本日の会議終了後に見ることは可能か。

(事務局) 可能です。

(委員) 保育園で延長保育を担当しているが、働いている親御さんにとっては5時閉館では利用できない。木曜日の開館時間が延びたことによって利用した子どもが増えたと思う。今後も増えていくのではと期待している。日曜日と同じことで他の図書館は日曜日も開いており、平日の開館時間も長い利用者が多い。武石の図書室は利用しづらいということもあり木曜日の開館時間延長、休日の開館を試行期間中で運営している。コロナの影響で保育園として図書室を利用する機会が減っている。子どもたちの中にも総合センターに図書室があるんだと言ってくれる子も増えてきていると思う。

(3) 上田市過疎地域持続的発展市町村計画策定について (センター長説明)

【質疑等】

(委員) 計画期間が4年間であり、有利な地方債などの各種支援措置の活用とあるが予算措置のために提案するのか。最終的に国からどのくらいの金額を見込んでいるのか。

(センター長) 地方債ということなのでお金を借りるというイメージになる。国自体が過疎債というものに対し予算を組んだ中で各過疎に指定されている地域がこういう計画をするので貸してほしいと申請し借りるというイメージ。ソフト事業は3,500万という限度額があるが、ハード事業には上限がない。ただし、充当率は100%、交付税措置率70%なので30%は自己財源を使うことになる。ある程度自己財源30%は確保するという予算措置をした上で県を通じ国に起債の申請していく。例えば2億の事業をするとすると30%の6,000万は自己財源として用立てしないとイケない。過疎債がなければ100%一般財源で対応しないとイケないと考えると上田市として有利な事業が展開できる。

(委員) 計画として力を入れる重点的なものを順番に並べるべきだと思う。武石地域としては特にここ

に力を入れていくといったものが見える計画案だと人が納得できるのではないか。

(センター長) 武石地域として何を一番進めていくかは重要である。これについては、皆さんの意見を聞きながら優先的にやっていく事業を選択していく。計画の中に順番を付けることは形式上できないが、予備的な資料として武石地域では年度ごとにこういった事業を行っていくという計画案は示せると思う。

(事務局) パブリックコメントを7月1日から7月31日まで実施する。次回の地域協議会でも意見をいただきたい。

(委員) 地方債ということだがこういった形で返していくのか。武石地域の予算から何割程度の支出をしていくのか。

(センター長) 年度ごとに事業の総額に対し何%と利率を付けて返済していく。起債償還は10～20年というスパンで返済になるが、それはそれで予算措置し予算計上していく。この起債事業の70%は交付税措置されるので70%は国から入ってくる。返済するお金は毎年予算計上し返済するといった予算措置をし、入ってくるお金は国の方で交付税措置として入金してくる。例えば1億借りれば1億に対し利息を付けて返済し、その代わりに支払った70%は国から戻してもらえるとイメージ。

4 その他

○武石夏祭りについて（産業建設課長説明）

開催日時：令和4年8月12日（金）夕方から

開催場所：武石総合センター南駐車場

商工会の夜店、飲食ブース設ける

花火大会も実施

感染防止策に十分配慮し行うため会場内でのアルコール禁止

夏祭り親善テニス大会

開催日時：令和4年8月14日（日）

開催場所：武石総合グラウンドテニスコート

・委員からの意見、質問なし

① 第4回 地域協議会の日程について

日時：令和4年7月20日（水）午後7時～

場所：武石地域総合センター3階大会議室

5 閉会（副会長）

～ 閉会后、武石公民館図書室及び学習室を視察 ～